

平成 27 年度事業計画書

(平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日)

1. 基本姿勢

愛知県、岐阜県を中心とする中部地域は、アジア NO. 1 クラスターの形成を目指す日本の航空宇宙産業の国内最大の生産拠点であり、生産高で 50% を占めている。世界的な航空需要の伸びを背景に、民間航空機は今後 20 年間の市場動向予測において、2 倍のジェット機が運航することが予測されている。これらに裏打ちされるように、当地域においても民間航空機の生産や開発活動が活発化しており、各社は B777 や 787 の増産の対応あるいは、昨年 10 月に初号機のロールアウト式典を行った MRJ は、本年の初飛行を予定し、量産準備対応等で繁忙な状態が続いている。一方、エアラインが国際的に熾烈な競争をしていることを背景に、民間航空機の開発や生産に当たっても、世界的なコスト競争が激化している。今後、日本の航空宇宙産業の発展のためには、とりわけ今後需要の拡大が見込まれている民間航空機の分野において技術やコストなど様々な観点で国際的に競争力を持つことが必要であり、そのためには日本の航空機産業を引き続き牽引し、産学官が連携しながら各々の活動に取り組んでいくことが必要であるとする。また、この地域を中心とする産学官の連携のもと航空宇宙産業に関するクラスター形成を実現するとともに、海外クラスターとの連携を含む各種事業に取り組む。

これらの事業推進に当たっては、自主事業のほか、国及び自治体等と連携し、各種施策を活用して行く。

また、平成 26 年 12 月に一般社団法人移行に伴う繰越金対策として、公益事業を行うことを義務(公益目的支出計画の実施)が完了した旨の確認されたことから、今後はこれまで以上に、会員からの期待に応えた事業及び活動に努めるとともに、新規会員の増強を図り運営基盤を安定させるため、魅力ある C-ASTEC を目指した事業を推進して行く。

2. 具体的活動

I. 航空宇宙産業及び技術に関する調査・研究事業(定款第 4 条第 1 項)

・航空機構造組立初級技能職育成講座の試行等

平成 28 年度本格展開に向け、昨年度作成された航空機構造組立初級技能職育成講座のテキスト／カリキュラムを使用した試行講座を 2 回実施することによりテキスト等の改定と事業環境を確認する。

また、その他の技能職としての初級電装・艀装等のニーズを把握し、育成講座を検討する。

・先進研究開発を含めた支援機能の調査検討；産学との連携・施設誘致。

II. 航空宇宙産業及び技術に関する情報収集・提供及び普及啓発事業(定款第 4 条第 2 項)

国際的に競争力のある航空宇宙産業の生産開発拠点の確立に求められる機能等について、国内外の先進地域事例の調査や、技術動向について情報収集を行う。

また、大学等と連携し最先端技術の提供及び機体メーカー、装備品メーカー及び Tier 1 企業のニーズ等を提供するためのセミナーなどを実施する。

・国内外の技術動向調査

III. 航空宇宙産業に関する技術支援事業(定款第 4 条第 3 項)

中小企業支援事業として、「中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業(ミラサポ)」で構築した「中部航空宇宙産業支援プラットフォーム」(当センターが代表機関として地銀 8 行を構成機関するもの)を活用して、中小企業等に対する技術相談及び新規参入支援等を行うため専門家を派遣する。

- ・技術相談及び新規参入支援事業
- ・戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）の支援

IV. 航空宇宙産業及び技術に関する人材育成事業（定款第4条第4項）

「航空宇宙産業クラスター形成特区人材養成講座“航空機技術－設計現場からのレッスン”」として名古屋大学、JAXAの協力を得て開設する。

また、航空機開発における評価業務に携わる技術者・技能者を養成するため、愛知県、JAXAと共催で「航空機開発関連試験評価人材養成講座」を開設する。

また、名古屋大学のGPL養成講座、岐阜県VRテクノセンターの生産技術者養成講座等との連携を取って行く。

V. 航空宇宙産業及び技術に関する国内外関連機関との連携及び交流事業

（定款第4条第5項）

これまで当センターが構築してきた、国内外の航空宇宙産業に携る企業・団体及び研究機関との連携及び交流を強化する。これらの連携及び交流事業を活用し、中堅・中小企業の国内外の販路開拓を支援する事業を実施する。

・当地域の支援機能強化と先進海外クラスターの早期キャッチアップに向けて、ハンブルグ・アビエーションと連携及び交流を行うことを目的としたMOUの締結を目指す。

（別紙）

- ・販路拡大支援

2016 国際航空宇宙展のプレイベントとなる東京エアロスペースシンポジウム 2015 向け、当地域の中堅・中小企業の出展・商談を支援する。

- ・逆見本市形式による商談会
- ・名古屋大学 NCC の支援
- ・ぎふ技術革新センター、いしかわ炭素繊維クラスター等との連携

VI. 中部地域に航空宇宙産業に関するクラスター形成とともに他産業との融合化支援事業

（定款第4条第6項）

国際戦略総合特区「アジア NO.1 航空宇宙産業クラスター形成特区」事業を推進するとともに、I から V までの事業の成果を基に他産業との融合化のための支援を実施する。

- ・航空宇宙産業フォーラム事務局事業の実施、役割機能の向上及びパートナーズの拡大・強化

VII. 損害保険の代理店業務（定款第4条第7項）

損害保険の代理店業務を通じて、航空機製造物賠償責任の重要性を説明すると共にを航空 P L 保険の普及を図る。

VIII. その他事業

- ・大学及び団体が開催するセミナー等の支援

IX. 会員要望事項

- ・会員企業アンケートの分析中

X. その他

会員拡大のための事業の検討

- ・自主事業における、会員割引制度の導入
- ・会員企業の見学会の開催
- ・HP・メルマガの充実（航空宇宙関連企業に特化した求人情報の提供）